

DenTechOA2 Ver 1.1.00 バージョンアップ手順書

- 請求時の消費税計算方法変更
- 請求時の値引き・調整額の設定方法変更

に伴う

各変更箇所や注意事項について

《注意・制限事項》

このバージョン導入後は、方式変更により、導入日付を境にして過去の「入金」「調整」「値引き」の遡り設定は出来なくなります。

各顧客の月次処理(入金・端数処理まで)を完了させてから導入することをお薦めします。

* Ver .1.0.0 から運用を開始された場合は、6ページ以降を参照ください。

Ver 1.1.0.0 の変更内容

(1) 請求時の消費税計算方法を変更

従前は請求に対応する個々の受注伝票の消費税を集計して請求額に加算していましたが、変更後は、税抜き計(個々の受注伝票の合計を集計)に、値引き額を差し引いた請求額に対し消費税を計算します。

《変更理由》

- ・値引き額を加味した消費税計算ができていなかった。

合計請求書の変更事例

〒810-1111
福岡県古賀市古賀駅前9-99-999
古賀歯科 御中

合計請求書
平成28年03月21日
合計請求書No.:16030013

its9 Dental Labo
ITSデンタルラボトリー
赤間営業所
〒811-4142
福岡県東郷市デンタル1-1-1
デンタルマンション3F
電話:092-000-0000 FAX:092-999-9999

前回ご請求額	ご入金金額	繰越金額	調整額	今回発生額	消費税	今回ご請求額
0	0	0	0	5,300	424	5,724

旧バージョン(～ Ver 1.0.1.3)の請求内訳

患者名・商品名	部位	技工・製品名	区分	数量	単価	合計	備考
福岡 一部		FCC	20	1.0	1,500	1,500	
		In	20	1.0	1,300	1,300	
		Pd	60	2.3	0	0	
計						2,800	
通算 五部	3	CRin	2	2,500	2,500		
		Ag	60	0	0		

合計請求書
平成28年04月21日
合計請求書No.:16030015

its9 Dental Labo
ITSデンタルラボトリー

新バージョン(Ver 1.1.0.0～)の請求内訳
内訳項目を追加

前回ご請求額	ご入金金額	繰越金額	調整額	今回発生額	消費税	今回ご請求額
5,724	5,700	24	0	9,500	1,900	8,200

患者名・商品名	部位	技工・製品名	区分	数量	単価	合計	備考
福岡 一部		CRin	20	1.0	2,500	2,500	
		Ag	60	3.5	0	0	
		計					
通算 五部	4	コーティングJK	20	1.0	7,000	7,000	
		2%Gold	60	3.5	0	0	

「前回ご請求額」-「ご入金金額」-「調整額」=「繰越金額」

「今回発生額」-「調整額」=「ご請求額」

「ご請求額」×「消費税率」=「消費税」

「繰越金額」+「ご請求額」+「消費税」=「今回ご請求額」

「入金・残高管理」の該当画面

入金・残高管理

処理年度: 2016年度

110802 顧客名: 古賀歯科 期首残高: 0

日付	位置No	件名	金額	調整額	入金額	請求額	消費税	繰越残
2016/03/21	16030013	(16030005)-(16030006)	5,300		5,700	5,800	424	5,724
2016/03/24		入金			5,700			24
2016/03/25		調整 <繰越引当>		24				0
2016/04/21	16030015	(16030009)-(16030010)	8,500		7,600	608	8,208	
2016/04/22		値引 <20%引当>		1,900				8,200
2016/04/26		入金			8,200			8
2016/04/26		調整 <繰越引当>		8				0

請求書の印刷 発行記録

印刷したい入金行をマウスで選択します。
複数行選択は自動で併発されます。(7桁:YMMSE0)

発行日付: 2016/03/21

「他」書き文字: []

プリンタの選択: Brother DCP-J940N Printer

期首残高、入金、調整、値引きの登録

登録区分: [調整] 登録日付: 2016/03/21

金額: []

消費税: []

登録

入金請求書印刷済

選択された年次分を印刷します。

選択行の変更・削除

更新

印刷

(2) 値引き・調整額の設定・登録方法を変更

従前は請求日(請求書発行日付)より前の日付で登録していましたが、変更後は請求日より後の日付で登録する様に変更。

「入金・残高管理」の画面

入金・残高管理

処理年度・顧客選択 2016年度

110802 顧客名 古賀歯科

日付	伝票No	件名	金額	調整額	入金額	請求額	消費税	繰越残
2016/03/21	16030013	(16030005)-(16030006)	5,300			5,300	424	5,724
2016/03/24	入金				5,700			24
2016/03/25	調整	<端数値引き>		24				0
2016/04/21	16030015	(16030009)-(16030010)	9,500	1,900		7,600	608	8,208
2016/04/22	値引	<20%値引き>		1,900				8,208
2016/04/26	入金				8,200			8
2016/04/26	調整	<端数値引き>		8				0

110802	顧客名	古賀歯科	期首残高	0				
日付	伝票No	件名	金額	調整額	入金額	請求額	消費税	繰越残
2016/03/21	16030013	(16030005)-(16030006)	5,300			5,300	424	5,724
2016/03/24	入金				5,700			24
2016/03/25	調整	<端数値引き>		24				0
2016/04/21	16030015	(16030009)-(16030010)	9,500	1,900		7,600	608	8,208
2016/04/22	値引	<20%値引き>		1,900				8,208
2016/04/26	入金				8,200			8
2016/04/26	調整	<端数値引き>		8				0

「入金」後の調整は「繰越残」の調整となります。

例として、

- ・請求額に対して振込み手数料を差し引いた入金がされた。
 - ・あるいは、端数を差し引いた入金がされた。
- 場合に、「繰越残」を調整します。

設定する日付は以下の範囲が有効となります。

「入金日」 < 「設定日付」 > 「請求日」

「請求日」から「入金日」の間の値引きは、請求額の調整となります。

例として、

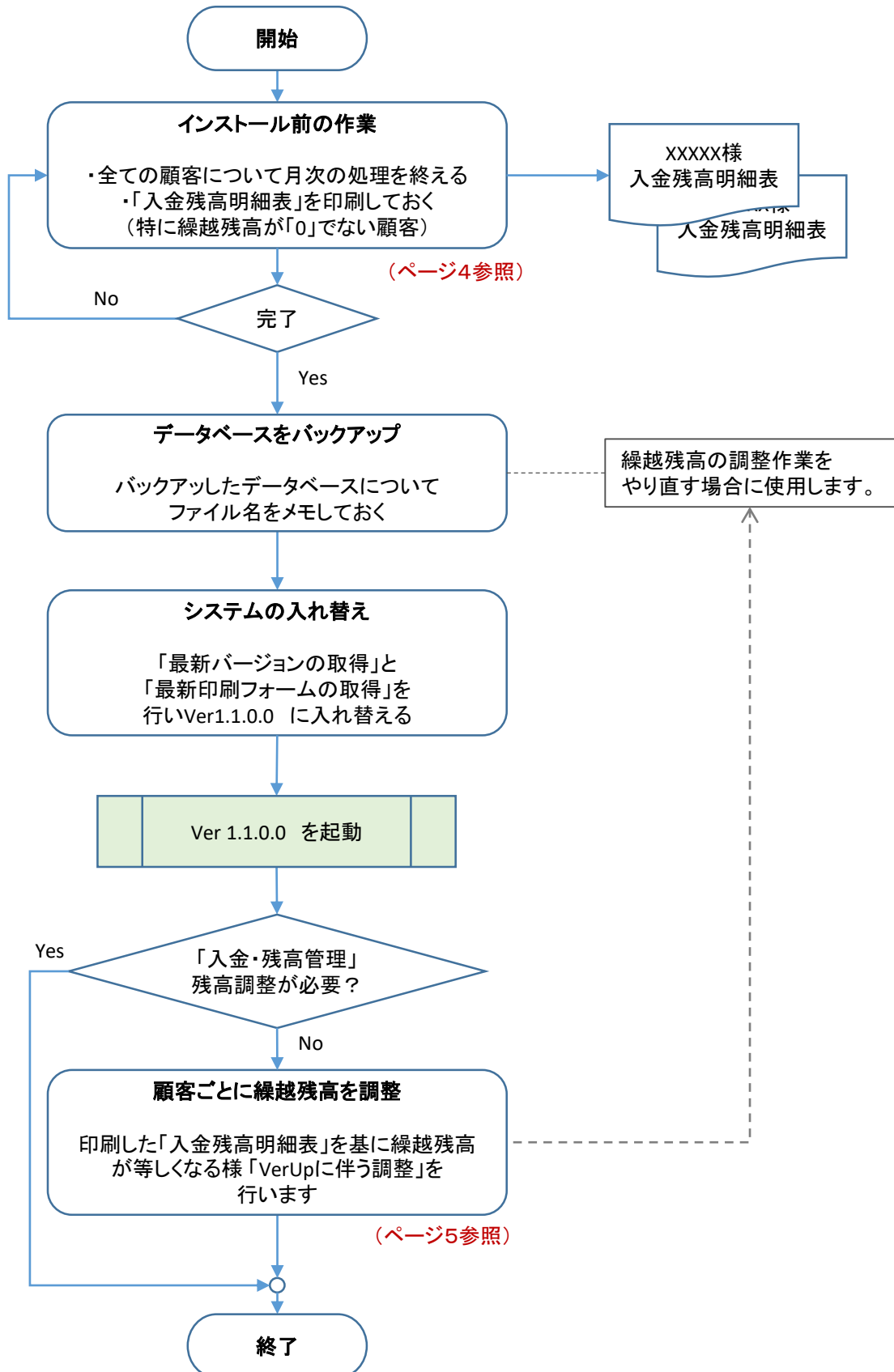
- 発生した請求額に対し「30%引き」や「端数を値引く」場合に設定します。
- 設定する日付は以下の範囲が有効となります。

「請求日」 < 「設定日付」 > 「入金日」

この際の値引き額の総額(複数行ある場合)は請求書行の「調整額」に集計されます。

インストール作業手順

以下の手順で作業を行います。



バージョンアップ後の、入金・残高管理の具体的な調整例

以下の図は「入金・残高管理」に於いて、同じデータで比較した例です。

・Ver 1.0.0.4 の画面及び請求書印刷例

請求額は今回発生額に消費税を加えた額から調整額を差し引いた金額となります。

$(2300 + 184) - 300 = 2184$

請求(2184円)に対する入金額は2000円で、端数184円を調整で値引きした例です。

合計請求書 No: 16030004
平成28年04月01日

赤間歯科 御中

毎度ありがとうございます。
下記の通りご請求申し上げます。

前回ご請求額	ご入金額	繰越金額	請求額	今回発生額	消費税	今回ご請求額
0	0	0	300	2,300	184	2,184

・Ver 1.1.0.0 の画面及び請求書印刷例 (上図と同じデータの場合)

旧バージョンで調整・値引きした(300円)は、前の伝票の端数調整とみなされ、請求額は今回発生額に消費税を加えた額となります。

$2300 + 184 = 2484$

請求(2484円)に対する入金額は2000円で、484円が残り、端数184円が調整され、繰越残高は300円(の差違)となります。

合計請求書 No: 16030004
平成28年04月01日

赤間歯科 御中

毎度ありがとうございます。
下記の通りご請求申し上げます。

前回ご請求額	ご入金額	繰越金額	請求額	今回発生額	調整額	ご請求額	消費税	今回ご請求額
0	0	0	0	2,300	0	2,300	184	2,484

Ver 1.1.0.0で旧情報の印刷は行えません。
この例の様に「値引き・調整」を伴う請求書では請求額に差違が発生します。



・Ver 1.1.0.0 からの使用に差違が出ないように調整

旧バージョンで調整・値引きした(300円)は、Ver 1.1.0.0 では前の伝票の端数調整とみなされるため無視されます。結果として、繰越残高は300円の差違が発生し、これを前と同じ(0円)になる様調整します。

Ver1.1.0.0 からの入金・残高管理の登録方法

以下の事例で「入金・残高管理」の入金や調整・値引きの登録方法を説明します。

日付	伝票No	件名	金額	調整額	入金額	請求額	消費税	繰越残
2016/03/21	16030013	(16030005)-(16030006)	5,300		5,300	5,300	424	5,724
2016/03/24	入金				5,700			24
2016/03/25	調整	<端数値引き>	24					0
2016/04/21	16030015	(16030009)-(16030010)	9,500	1,900		7,600	608	8,208
2016/04/22	値引	<20%値引き>		1,900				8,208
2016/04/26	入金				8,200			8
2016/04/26	調整	<端数値引き>		8				0

前回の請求額5724円に対し、端数を除いた5700円が入金された。

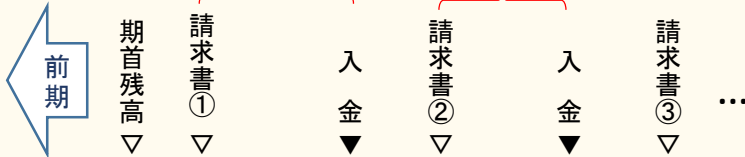
請求額と入金額の差額24円を端数值引きとして調整した。

今回の請求9500円となったが、20% (1900円) 値引き、結果、7600円を請求する事になった。
消費税は7600円 × 8%の608円。

今回の請求額7600円 + 608円 = 8208円に対し端数を差し引いた8200円が入金された。

請求額と入金額の差額8円を端数值引きとして調整した。

《設定日付の関係》



【ルール】
入金前は⇒「値引」
入金後は⇒「調整」
で設定します。

請求日は含まず

入金日は含まず

入金後～次の請求書期間については残高端数の調整で使用します。

【例】
請求額に対し端数を切り捨てて入金された場合や振込手数料を差し引いた入金に対し、その端数を調整する場合等

値引き額は請求書行の「調整額」に集計されます。

日付	伝票No	件名	金額	調整額	入金額	請求額	消費税	繰越残
2016/03/21	16030013	(16030005)-(16030006)	5,300			5,300	424	5,724
2016/03/24	入金				5,700			24
2016/03/25	調整	<端数値引き>	24					0
2016/04/21	16030015	(16030009)-(16030010)	9,500	1,900		7,600	608	8,208
2016/04/22	値引	<20%値引き>		1,900				8,208
2016/04/26	入金				8,200			8
2016/04/26	調整	<端数値引き>		8				0

この伝票を「伝票管理」画面で照会した場合は
《次項へ》

前項の事例を「伝票管理」画面の「詳細」ボタンで開いた例

110802	顧客名	古賀歯科	期首残高	0				
日付	伝票No	件名	金額	調整額	入金額	請求額	消費税	繰越残
2016/03/21	16030013	(16030005)-(16030006)	5,300			5,300	424	5,724
2016/03/24	入金				5,700			24
2016/03/25	調整	<端数値引き>		24				0
2016/04/21	16030015	(16030009)-(16030010)	9,500	1,900		7,600	608	8,208
2016/04/22	値引	<20%値引き>		1,900				8,208
2016/04/26	入金				8,200			8
2016/04/26	調整	<端数値引き>		8				0

請求額の内訳

前回残高	5,724	税抜き計	9,500 (b)
入金額	5,700	調整額計	1,900 (c)
入金後調整計	24	調整後計	7,600 (b-c)
繰越金額	0	税額	608 (d)
	(a)	発生額	8,208 (b-c+d)

《請求額》
請求書 **8,208 (b-c+d)** 合計請求書 **8,208 (a+b-c+d)**

請求日の変更 2016/04/21 設定

調整額の設定
区分 調整 入金は「入金・残高管理」で行う
登録日 2016/04/22 請求日より後の日付
登録メモ

選択入力 設定

請求書の請求日変更と調整額

「伝票管理」画面で目的の請求書行の「詳細」ボタンで開いた「詳細設定」画面

詳細設定

請求書 No: 16030015 請求日: 2016/04/21

医院(顧客名) 古賀歯科 件名 ((16030009)-(16030010))

請求額の内訳	請求日の変更	調整額の設定
前回残高 5,724	2016/04/21 設定	区分 調整 入金は「入金・残高管理」で行う
入金額 5,700		登録日 2016/04/22 請求日より後の日付
入金後調整計 24		
繰越金額 0 (a)		
税抜き計 9,500 (b)		
調整額計 1,900 (c)		
調整後計 7,600 (b-c)		
税額 608 (d)		
発生額 8,208 (b-c+d)		
請求書 8,208 (b-c+d)		
合計請求書 8,208 (a+b-c+d)		

この請求書を印刷。

従来通りここから調整・値引きの登録ができます。

《変更点》
「請求日より前の日付」
↓
「請求日より後の日付」 Ver 1.1.0.0

合計請求書

合計請求書No: 16030015
平成28年04月21日

見本

古賀歯科 御中

毎度ありがとうございます。
下記の通りご請求申し上げます。

前回ご請求額	ご入金額	調整額	繰越金額	今回発生額	調整額	ご請求額	消費税	今回ご請求額
5,724	5,700	24	0	9,500	1,900	7,600	608	8,208

患者名/領品日	調剤	技工・器具名	区分	数量	単価	合計	備注
八幡 良子 2016/03/29	金	CRin	20	1.0	2,500	2,500	
		Ag	60	3.5	0	0	
						計	2,500
戸塚 三郎 2016/03/29		コーピングJK	20	1.0	7,000	7,000	
		12%GOid	60	3.5	0	0	
						計	7,000

補足事項

- 納品書で印刷される消費税は、納品書毎の個々の受注伝票の消費税を集計した額となります。請求時に請求額の「調整・値引き」をされると、納品書(受注伝票)の消費税集計額と合致しなくなります。参考値として参照してください。

納品書に消費税を印字したくない場合は「顧客情報管理」で「消費税を印字しない」設定を行ってください

- 受注伝票作成時に、「受注入力」画面に表示される消費税は受注伝票毎に計算された額となります。参考値として参照してください。

- 月別売上予定表(請求額の集計)に「調整額」欄を付加し、「税抜き計」-「調整額」を「請求額」とするように変更しました。

月別売上予定一覧表(請求額集計) 作成日: 2016/03/23

年 月	2016/04	
期 間	2016/03/21 ~ 2016/04/20	
税 抜 計	7,600	
消 費 税 計	608	
合 計	8,208	

ITSデンタルラボラトリー

No	伝票No	医院名(顧客名)	請求日	税抜計	調整額	請求額	消費税	合 計
1	16030012	赤間歯科	2016/03/21	2,300	0	2,300	184	2,484
2	16030013	古賀歯科	2016/03/21	5,300	0	5,300	424	5,724